

第23回 障害者の主張大会

障害者の主張大会は、障害をもつ方が夢や希望を発表し、
皆さんに思いを伝えます。ぜひご来場ください！！

開催日：平成24年12月9日（日）

時間：午後1時

会場：山梨県立図書館

入場無料

第22回 障害者の主張大会 最優秀賞受賞作文（平成23年12月5日開催）

芦沢和也さん（知的障害）

私は芦沢和也と申します。この九月から、正式にNTTケルティ塩山ファクトリーに勤めています。会社はリサイクル原料から、手漉き紙製品の製造をしています。私はその中で、紙すき作業を担当しています。最初は細かい手順や液の量を覚えるのが大変でしたが、今では仕事にも慣れ、紙を漉きあげるところに喜びを感じています。同僚は皆、個性的で笑顔がいつも溢れている、そんな職場です。

私が皆さんに、私の経歴をお伝えしようと思ったきっかけは、私の就職直後の新聞に、「支援学校生の就職狭き門」と載っていたことからです。東日本大震災の影響もあったのか、県内企業の障害者雇用が厳しくなっているという状況を知り、少しでも後輩のこれからへの支えになればと思い、原稿用紙に向かいました。

今年三月、私は、かつて支援学校高等部を講師先がきまらないまま卒業しました。高等部では現場実習というものがありませんでした。年一回、各週間に渡って自分の可能性を探したり、自分の進路を決めたりするために行うものです。私は、臨時の実習をきめ、ハケ所以上に実習に行きました。製パン会社から始まり、宝飾販売会社、ホテル厨房の洗い場などを経験しました。中でも宝飾会社では、伝書紙やメッセージ書き等、やり甲斐のある仕事をさせて頂きました。充実した実習を終え、採用の可能性を伺った一般の方と同じ仕事量・内容が求められるとわかり、私は、自分の力不足を感じて諦めました。とても残念でした。

三年の秋には、ハローワーク主催の障害者同面接会にも参加しました。会場に入った瞬間、参加者は学生だけではないこと、非常に多くの方が職を求めていることに驚かされました。参加企業は三十社近くあり、話を聞き、面接を何社かに申し込みましたが、返事を頂けたのは一社だけでした。しかし本社が東京にあり、山梨での開設が四月のためか、一回も確認の問い合わせをしましたが、面接日決定の連絡はなかなかありませんでした。

友達の進路が決まってくる中で、私だけが決まらない「焦り」、「待つ」という時間はとても切ないものと初めて感じました。そんな中、今の会社の実習に行きました。この時は、製造関係はもとより、社会人としての心得の勉強もありました。自分の新たな可能性を知ることができた。週間の最後、適性検査と面接を受けました。職場の方も優しく雰囲気もよく、仕事の進め方もあったことから、期待に胸を大くくらせていました。採用については、ガッカリの結果でした。

先程の合同面接会の会社は、結局卒業式を終わってから面接がありました。結果として採用には至りませんでした。業務が以前に実習した宝飾会社の内容と似ていたこともあり、自分でも仕事ができそうだという自信もあったので、これまたガッカリでした。

四月、私は、気持ちを切り替え、県立就業支援センターに入校しました。日々の勉強を重ね、自分に自信を持つ中、今の会社のことを語れずにはいられませんでした。ある日、会社からセンターの先生を通して再面接の打診がありました。面接後、三ヶ月のトライアル雇用の開始。私は、選れた時間を取り戻すように、仕事に夢中で取り組み、毎日が本当に矢のよう過ぎました。そして頂いた「採用OK」。

いつも全力で実習に取り組んでいたと。夢を持ち、諦めずにと。気持ちを切り替え、チャンスを手に入れたこと。それを活かすことができたこと。これまでも多くの方々に支えて頂いたこと。それらが全部集まって今につながっていることをかみしめ、私は言葉では表せない喜びを感じました。

私は学生時代から「チャレンジ」と「人の役に立つ」を大切にしています。私達にはできる仕事がたくさんあると思います。仕事への可能性が沢山あると思います。私達は「頑張れます」後輩達にもチャンスを下さい。広い雇用を望みます。

主催
山梨県
社会福祉法人
山梨県障害者福祉協会
山梨県議会
（社福）山梨県社会福祉協議会
産経新聞社甲府支局
毎日新聞社甲府支局
山梨日日新聞社
日本放送協会甲府放送局
山梨放送
テレビ山梨

問合せ 社会福祉法人 山梨県障害者福祉協会

〒400-0124 山梨県甲府市北新1-2-12

TEL 055-252-0100 FAX 055-251-3344

福祉プラザ1階

担当 志村